



2021年3月期 決算短信[日本基準](連結)

2021年5月12日

上場取引所 東

上場会社名 関西ペイント株式会社
 コード番号 4613 URL <https://www.kansai.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員 経営推進部門長
 定時株主総会開催予定日 2021年6月29日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月30日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(氏名)毛利 訓士
 (氏名)高原 茂季
 配当支払開始予定日

TEL 06-6203-5531
 2021年6月30日

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1)連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	364,620	△10.4	31,228	△0.9	35,880	2.9	20,027	8.4
2020年3月期	406,886	△4.8	31,510	△2.5	34,874	0.1	18,477	6.2

(注)包括利益 2021年3月期 29,550百万円(189.7%) 2020年3月期 10,199百万円(-%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本当期 純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	77.91	72.47	7.2	6.2	8.6
2020年3月期	71.87	65.71	6.9	6.2	7.7

(参考)持分法投資損益 2021年3月期 4,802百万円 2020年3月期 3,990百万円

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	606,580	338,859	47.3	1,115.87
2020年3月期	544,123	320,697	49.4	1,045.99

(参考)自己資本 2021年3月期 286,799百万円 2020年3月期 268,877百万円

(3)連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	42,647	△507	16,828	108,377
2020年3月期	40,324	△22,045	△37,403	50,594

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00	7,746	41.7	2.9
2021年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00	7,746	38.5	2.8
2022年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00		29.7	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	400,000	9.7	38,000	21.7	44,000	22.6	26,000	29.8	101.16

※ 注記事項

(1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動):無

(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	272,623,270株	2020年3月期	272,623,270株
② 期末自己株式数	2021年3月期	15,603,530株	2020年3月期	15,567,211株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	257,051,346株	2020年3月期	257,104,459株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1)個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	133,807	△10.0	10,580	△22.8	22,834	22.6	18,877	—
2020年3月期	148,678	△4.4	13,702	△7.7	18,623	△19.3	△6,694	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	73.14	68.04
2020年3月期	△25.93	—

(2)個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2021年3月期	386,319	203,554	203,554	189,140	52.7	788.66	732.83	
2020年3月期	334,706	189,140	189,140	189,140	56.5	732.83	732.83	

(参考)自己資本 2021年3月期 203,554百万円 2020年3月期 189,140百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況 (4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績等の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績等の概況

(当期の経営成績)

当期における世界経済は、地政学的リスクへの懸念に加えて、年初から新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響を受け、一時的に景気の減速感が強まりましたが、経済活動の再開に伴い消費の持ち直しが見られました。そのような状況下、中国においては、新型コロナウイルス感染症から一早く回復し、景気は持ち直しました。米国、欧州、その他のアジア新興国及びアフリカにおいては、景気は依然として厳しい状況で推移しましたが、一部市場を除き、持ち直しや下げ止まりの動きがみられました。わが国経済は、設備投資や生産に持ち直しの動きがみられるものの、依然として厳しい状況で推移いたしました。

当社グループの当連結会計年度における売上高は3,646億20百万円（前期比10.4%減）となりました。売上高の減少の影響を受ける一方で、原材料価格の下落や販売費及び一般管理費の削減の取り組みにより、営業利益は312億28百万円（前期比0.9%減）となりました。経常利益は持分法投資利益が増加したことなどにより、358億80百万円（前期比2.9%増）となりました。また、政策保有株縮減に伴う投資有価証券売却益が増加した一方、インドネシアにおいて火災による損失を計上したほか、中国及びマレーシアにおいて有形固定資産及び無形固定資産の減損損失を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する当期純利益は200億27百万円（前期比8.4%増）となりました。

各セグメントの状況は以下のとおりであります。

① 日本

自動車分野は、新車用分野では自動車生産台数に回復の動きが見られるものの、前年を下回り、売上は減少しました。工業分野では、自動車部品向け塗料や建設機械向け塗料などが生産調整による影響を受け、売上は前年を下回りました。建築分野では、家庭用塗料の需要の高まりにより、売上は前年を上回りました。船舶分野では、修繕船の工事延期等の影響により、売上は前年を下回りました。自動車分野（補修用）及び防食分野では、国内市況が低調に推移し、売上は前年を下回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は1,429億99百万円（前期比7.8%減）、経常利益は155億32百万円（前期比14.4%減）となりました。

② インド

自動車分野では、年後半に持ち直しの動きが見られたものの、4月から6月における自動車生産台数の大幅減少により売上は前年を下回りました。建築分野では、年後半には地方を中心に回復の動きが見られましたが、年初における新型コロナウイルス感染症拡大を抑止するためのロックダウンの影響を受け売上は前年を下回り、当セグメント全体の売上は前年を下回りました。そのような状況下、原材料価格が下落したことに加え、経費削減の取り組みにより、利益はわずかな減少にとどまりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は730億84百万円（前期比10.5%減）、経常利益は101億98百万円（前期比0.7%減）となりました。

③ 欧州

トルコでは、工業用分野及び自動車分野の現地通貨ベースでの売上は伸長し、原材料価格が下落したことにより利益も増加しましたが、円貨ベースでの業績は為替換算による押し下げの影響を受けました。一方、建築分野では、堅調な需要に加え、当該分野を主力とする持分法適用会社において、設備投資優遇措置によって租税負担が減少したことなどにより持分法投資利益は増加しました。その他欧州各国においては、自動車分野（補修用）、建築分野及び防食分野では堅調な需要に支えられ売上は前年を上回りましたが、工業用分野の売上は前年を下回り、欧州全体の売上は前年を下回りました。そのような状況下、原材料価格が安定的に推移したほか、経費削減の取り組みや各国政府による政策の下支えもあり、利益は増加しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は660億2百万円（前期比3.2%減）、経常利益はのれんの償却を含め52億20百万円（前期比91.9%増）となりました。

④ アジア

中国においては、年初からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大による経済活動の停滞から一早く回復し、売上は前年に比べわずかな減少にとどまりました。インドネシア、タイ及びマレーシアにおいては、新型コロナウイルス感染症拡大により自動車生産台数が減少し、年後半に持ち直しの動きが見られたものの、売上は前年を下回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は495億4百万円（前期比17.7%減）、経常利益46億38百万円（前期比15.0%減）となりました。

⑤ アフリカ

南アフリカ及び近隣諸国の経済が低迷するなか、新型コロナウイルス感染症拡大に伴うロックダウンの実施による経済停滞も加わり、南アフリカ地域の売上は前年を大きく下回りました。東アフリカ地域においては、建築分野において堅調な需要を取り込み売上は伸長しましたが、アフリカ全体の売上は前年を下回りました。原材料価格が下落したことに加え、原価低減の取り組み、不採算事業の整理及び固定費の削減を進め、売上が大きく減少する中、損失の拡大を抑えました。

これらの結果、当セグメントの売上高は279億17百万円（前期比21.9%減）、経常損益はのれんの償却を含め経常損失8億58百万円（前期比 - %）となりました。

⑥ その他

北米では、新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動の停滞が続き、工業分野において売上は前年を下回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は51億12百万円（前期比15.1%減）、経常利益は11億49百万円（前期比7.6%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

① 流動資産

当連結会計年度末における流動資産合計は、3,004億71百万円（前期末比595億32百万円増）となりました。流動資産の増加は、主に資金の借入の実行により現金及び預金が増加したことによるものであります。

② 固定資産

当連結会計年度末における固定資産合計は、3,061億8百万円（前期末比29億23百万円増）となりました。固定資産の増加は、のれん及び繰延税金資産などが減少したものの、投資有価証券などが増加したことによるものであります。

③ 流動負債

当連結会計年度末における流動負債合計は、1,563億57百万円（前期末比442億44百万円増）となりました。流動負債の増加は、短期借入金が減少したものの、支払手形及び買掛金及び1年内返済予定の長期借入金などが増加したことによるものであります。

④ 固定負債

当連結会計年度末における固定負債合計は、1,113億63百万円（前期末比49百万円増）となりました。固定負債の増加は、長期借入金が減少したものの、繰延税金負債などが増加したことによるものであります。

⑤ 純資産

当連結会計年度末における純資産合計は、3,388億59百万円（前期末比181億62百万円増）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前期末に比べ577億82百万円増加し1,083億77百万円となりました。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、前期比23億22百万円収入が増加し、426億47百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益408億26百万円及び減価償却費143億19百万円などの収入、法人税等の支払額75億74百万円の支出などによるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、前期比215億37百万円支出が減少し、5億7百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出額105億92百万円などの支出、投資有価証券の売却による収入額87億74百万円の収入などによるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、168億28百万円（前連結会計年度は374億3百万円の支出）の収入となりました。これは主に、長期借入れによる収入額435億75百万円などの収入、短期借入金の減少額121億16百万円、長期借入金の返済による支出額25億86百万円、配当金の支払額77億46百万円及び非支配株主への配当金の支払額35億75百万円などの支出によるものであります。

キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率(%)	49.4	47.3
時価ベースの自己資本比率(%)	97.2	125.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(倍)	2.5	3.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	23.7	26.7

(注) 自己資本比率 : 自己資本 / 総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額 / 総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債 / 営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー / 利払い

* 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

* 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数(自己株式控除後)により算出しております。

* 営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

塗料産業は一大成長産業であり、今後も世界的、中長期的に着実に需要が伸長していくものと見込んでおりますが、一方、昨年来の新型コロナウイルス感染症蔓延による市場への影響や、世界的な通商問題、中国経済の先行き、新興国経済の動向や政策に関する不確実性、金融資本市場の変動、主要市場である自動車産業の変化や半導体需給の影響等のリスク要因があり、これらは当社グループの全事業分野に対し、著しく不透明性を増すものとして引き続き慎重な注視を要する状況です。

これらの状況下、当社グループは、市場回復へ対応する態勢を整えながら、社員とその家族の安全を確保することおよびステークホルダーに対する責務を果たすことを大前提とし、事業継続に努めているところであります。当社は、これらの経営環境を踏まえながら、持続性の高い企業として変革するため、第16次中期経営計画の重点方針である「資本生産性・収益性の向上を伴う利益成長」、「事業競争力の向上」及び「グループ総合力の向上」の達成を目指してグループ力を結集し、さらなる業績向上に向け事業活動を展開してまいります。

次期の見通しといたしましては、連結売上高は4,000億円(当期比9.7%増)、連結営業利益は380億円(当期比21.7%増)、連結経常利益は440億円(当期比22.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は260億円(当期比29.8%増)を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性等を考慮し、日本基準を適用しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢等を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	58,618	114,292
受取手形及び売掛金	101,512	105,129
有価証券	4,705	10,154
商品及び製品	35,095	35,782
仕掛品	5,696	5,538
原材料及び貯蔵品	23,530	24,346
その他	14,932	8,498
貸倒引当金	△3,152	△3,269
流動資産合計	240,938	300,471
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	58,222	58,119
機械装置及び運搬具(純額)	31,067	30,024
工具、器具及び備品(純額)	8,355	6,940
土地	25,041	25,292
建設仮勘定	6,732	6,844
有形固定資産合計	129,419	127,220
無形固定資産		
借地権	3,306	3,011
ソフトウェア	2,320	2,105
ソフトウェア仮勘定	227	302
のれん	33,551	29,882
その他	19,000	16,033
無形固定資産合計	58,406	51,335
投資その他の資産		
投資有価証券	76,183	86,942
出資金	17,414	17,611
長期貸付金	2,292	2,255
退職給付に係る資産	9,012	14,588
繰延税金資産	7,470	3,637
その他	7,626	7,120
貸倒引当金	△4,641	△4,602
投資その他の資産合計	115,358	127,552
固定資産合計	303,185	306,108
資産合計	544,123	606,580

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	58,694	63,808
短期借入金	18,467	6,013
関係会社短期借入金	140	110
1年内返済予定の長期借入金	2,070	46,643
リース債務	1,353	669
未払費用	9,631	9,601
未払法人税等	2,242	7,471
賞与引当金	5,431	4,749
その他	14,082	17,288
流動負債合計	112,113	156,357
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	60,110	60,060
長期借入金	12,354	7,751
リース債務	1,795	1,679
繰延税金負債	25,040	29,994
退職給付に係る負債	9,497	8,598
役員退職慰労引当金	116	102
役員株式給付引当金	102	137
その他	2,296	3,038
固定負債合計	111,313	111,363
負債合計	223,426	267,720
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,658	25,658
資本剰余金	22,438	21,081
利益剰余金	248,511	260,799
自己株式	△25,711	△25,844
株主資本合計	270,897	281,695
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,322	33,400
繰延ヘッジ損益	1,224	△1,003
為替換算調整勘定	△25,936	△31,130
退職給付に係る調整累計額	△631	3,838
その他の包括利益累計額合計	△2,020	5,104
非支配株主持分	51,819	52,059
純資産合計	320,697	338,859
負債純資産合計	544,123	606,580

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
 (連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	406,886	364,620
売上原価	277,359	243,938
売上総利益	129,527	120,682
販売費及び一般管理費	98,016	89,454
営業利益	31,510	31,228
営業外収益		
受取利息	653	595
受取配当金	1,687	1,559
持分法による投資利益	3,990	4,802
雑収入	1,831	1,703
営業外収益合計	8,162	8,661
営業外費用		
支払利息	1,749	1,585
たな卸資産廃棄損	329	407
為替差損	1,466	560
雑支出	1,253	1,455
営業外費用合計	4,798	4,008
経常利益	34,874	35,880
特別利益		
固定資産売却益	49	97
投資有価証券売却益	152	6,298
関係会社株式売却益	1,708	374
関係会社出資金売却益	-	1,634
子会社清算益	8	18
特別利益合計	1,919	8,423
特別損失		
固定資産除売却損	1,019	419
関係会社出資金売却損	39	-
減損損失	-	755
投資有価証券売却損	-	36
投資有価証券評価損	16	4
関係会社株式売却損	-	80
災害による損失	60	1,457
事業撤退損	37	517
早期割増退職金	-	206
のれん償却額	1,129	-
特別損失合計	2,303	3,477
税金等調整前当期純利益	34,490	40,826
法人税、住民税及び事業税	9,360	14,116
法人税等調整額	1,949	3,142
法人税等合計	11,310	17,259
当期純利益	23,179	23,566
非支配株主に帰属する当期純利益	4,702	3,539
親会社株主に帰属する当期純利益	18,477	20,027

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	23,179	23,566
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,482	7,221
繰延ヘッジ損益	601	△2,216
為替換算調整勘定	△4,497	△4,826
退職給付に係る調整額	△1,401	4,469
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,200	1,335
その他の包括利益合計	△12,980	5,984
包括利益	10,199	29,550
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	6,625	27,152
非支配株主に係る包括利益	3,573	2,398

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	25,658	22,342	237,721	△25,537	260,185
会計方針の変更による 累積的影響額			△198		△198
会計方針の変更を反映し た当期首残高	25,658	22,342	237,523	△25,537	259,986
当期変動額					
剰余金の配当			△7,488		△7,488
親会社株主に帰属する 当期純利益			18,477		18,477
自己株式の取得				△221	△221
自己株式の処分		0		47	47
連結子会社株式の取得 による持分の増減		95	△0		95
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	95	10,988	△173	10,910
当期末残高	25,658	22,438	248,511	△25,711	270,897

	その他の包括利益累計額					非支配株主 持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	29,876	622	△21,439	770	9,831	50,644	320,661
会計方針の変更による 累積的影響額						△39	△238
会計方針の変更を反映し た当期首残高	29,876	622	△21,439	770	9,831	50,604	320,423
当期変動額							
剰余金の配当							△7,488
親会社株主に帰属する 当期純利益							18,477
自己株式の取得							△221
自己株式の処分							47
連結子会社株式の取得 による持分の増減							95
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△6,554	601	△4,497	△1,401	△11,851	1,214	△10,636
当期変動額合計	△6,554	601	△4,497	△1,401	△11,851	1,214	274
当期末残高	23,322	1,224	△25,936	△631	△2,020	51,819	320,697

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	25,658	22,438	248,511	△25,711	270,897
超インフレの調整額			△2		△2
超インフレの調整額を反映した当期首残高	25,658	22,438	248,509	△25,711	270,895
当期変動額					
剰余金の配当			△7,746		△7,746
親会社株主に帰属する当期純利益			20,027		20,027
自己株式の取得				△157	△157
自己株式の処分		0		22	22
連結子会社株式の取得による持分の増減		△21	8		△13
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△1,334			△1,334
持分法適用会社に対する持分変動に伴う自己株式の増減				1	1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	△1,356	12,289	△133	10,799
当期末残高	25,658	21,081	260,799	△25,844	281,695

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	23,322	1,224	△25,936	△631	△2,020	51,819	320,697
超インフレの調整額						△0	△2
超インフレの調整額を反映した当期首残高	23,322	1,224	△25,936	△631	△2,020	51,819	320,694
当期変動額							
剰余金の配当							△7,746
親会社株主に帰属する当期純利益							20,027
自己株式の取得							△157
自己株式の処分							22
連結子会社株式の取得による持分の増減							△13
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動							△1,334
持分法適用会社に対する持分変動に伴う自己株式の増減							1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	10,077	△2,228	△5,194	4,469	7,124	240	7,365
当期変動額合計	10,077	△2,228	△5,194	4,469	7,124	240	18,164
当期末残高	33,400	△1,003	△31,130	3,838	5,104	52,059	338,859

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	34,490	40,826
減価償却費	14,482	14,319
減損損失	-	755
事業撤退損	-	517
のれん償却額	5,796	3,501
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,784	△169
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	273	108
受取利息及び受取配当金	△2,340	△2,155
支払利息及び社債利息	1,749	1,585
持分法による投資損益 (△は益)	△3,990	△4,802
投資有価証券売却損益 (△は益)	△152	△6,261
投資有価証券評価損益 (△は益)	16	4
関係会社株式売却損益 (△は益)	△1,708	△294
関係会社出資金売却損益 (△は益)	39	△1,634
固定資産除売却損益 (△は益)	970	322
売上債権の増減額 (△は増加)	10,840	△5,006
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,887	△2,972
仕入債務の増減額 (△は減少)	△11,445	5,943
その他	1,987	2,504
小計	51,111	47,091
利息及び配当金の受取額	3,474	4,726
利息の支払額	△1,699	△1,596
法人税等の支払額	△12,561	△7,574
営業活動によるキャッシュ・フロー	40,324	42,647
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,417	△3,386
定期預金の払戻による収入	2,078	5,055
有価証券の純増減額 (△は増加)	△1,624	△4,759
有形固定資産の取得による支出	△12,803	△10,592
有形固定資産の売却による収入	231	124
無形固定資産の取得による支出	△944	△724
投資有価証券の取得による支出	△41	△202
投資有価証券の売却による収入	37	8,774
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,247	-
貸付けによる支出	△2,450	△235
貸付金の回収による収入	399	1,101
デリバティブ決済による収支 (純額)	351	2,842
その他	△614	1,492
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,045	△507

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	6,579	△12,116
長期借入れによる収入	6,779	43,575
長期借入金の返済による支出	△821	△2,586
転換社債型新株予約権付社債の償還による支出	△40,000	-
自己株式の取得による支出	△157	△14
配当金の支払額	△7,488	△7,746
非支配株主への配当金の支払額	△1,890	△3,575
非支配株主からの払込みによる収入	123	165
その他	△527	△871
財務活動によるキャッシュ・フロー	△37,403	16,828
現金及び現金同等物に係る換算差額	△488	△1,185
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△19,612	57,782
現金及び現金同等物の期首残高	70,207	50,594
現金及び現金同等物の期末残高	50,594	108,377

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主に塗料の製造・販売を行っており、国内においては主として当社が、海外においては現地法人がそれぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、生産・販売体制を基礎とした地域別セグメントから構成されており、「日本」、「インド」、「欧州」、「アジア」及び「アフリカ」の5つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載とおおむね同一であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務諸 表計上額 (注3)
	日本	インド	欧州	アジア	アフリカ	計				
売上高										
(1) 外部顧客への売上高	155,078	81,697	68,168	60,176	35,742	400,865	6,021	406,886	-	406,886
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	13,031	62	135	2,932	297	16,459	0	16,459	△16,459	-
計	168,110	81,759	68,304	63,109	36,039	417,324	6,021	423,346	△16,459	406,886
セグメント利益または 損失(△)	18,153	10,268	2,719	5,456	△2,967	33,630	1,243	34,874	-	34,874
セグメント資産	231,508	69,668	100,933	98,168	42,914	543,193	14,804	557,998	△13,874	544,123
その他の項目										
減価償却費	3,860	2,036	2,866	2,979	2,235	13,979	503	14,482	-	14,482
のれん償却額(注5)	-	90	1,900	414	3,114	5,519	276	5,796	-	5,796
受取利息	377	39	18	313	22	771	0	771	△118	653
支払利息	34	276	443	81	1,040	1,876	0	1,877	△128	1,749
持分法投資利益または 損失(△)	1,103	△67	349	1,493	133	3,012	978	3,990	-	3,990
持分法適用会社への 投資額	13,852	150	7,840	19,234	1,733	42,811	3,418	46,229	-	46,229
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	4,952	3,927	2,162	1,857	971	13,872	77	13,949	-	13,949

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、アメリカ・メキシコ等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益または損失(△)、セグメント資産及びその他の項目の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益または損失(△)は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

4. 日本以外の各セグメントに属する主な国または地域

インド……インド、バングラデシュ、ネパール等

欧州……スロベニア、トルコ、オーストリア等

アジア……インドネシア、タイ、中国等

アフリカ……南アフリカ、ウガンダ、ジンバブエ等

5. のれんの償却額には、特別損失の「のれん償却額」を含んでおります。

当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務諸 表計上額 (注3)
	日本	インド	欧州	アジア	アフリカ	計				
売上高										
(1) 外部顧客への売上高	142,999	73,084	66,002	49,504	27,917	359,508	5,112	364,620	-	364,620
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	11,764	33	91	2,131	194	14,215	-	14,215	△14,215	-
計	154,764	73,117	66,093	51,636	28,112	373,724	5,112	378,836	△14,215	364,620
セグメント利益または 損失 (△)	15,532	10,198	5,220	4,638	△858	34,730	1,149	35,880	-	35,880
セグメント資産	297,676	82,483	100,638	91,096	34,070	605,965	14,445	620,410	△13,829	606,580
その他の項目										
減価償却費	3,842	2,213	3,039	2,854	1,872	13,822	496	14,319	-	14,319
のれん償却額	-	84	1,839	392	914	3,230	271	3,501	-	3,501
受取利息	248	89	52	278	41	710	0	710	△114	595
支払利息	72	307	509	82	723	1,695	2	1,697	△111	1,585
持分法投資利益または 損失 (△)	1,035	△46	969	1,951	△18	3,890	911	4,802	-	4,802
持分法適用会社への 投資額	17,321	268	6,869	19,621	1,682	45,761	3,647	49,409	-	49,409
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	5,685	1,513	2,885	885	348	11,317	229	11,547	-	11,547

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、アメリカ・メキシコ等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益または損失 (△)、セグメント資産及びその他の項目の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益または損失 (△) は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

4. 日本以外の各セグメントに属する主な国または地域
 インド……インド、バングラデシュ、ネパール等
 欧州……スロベニア、トルコ、オーストリア等
 アジア……インドネシア、タイ、中国等
 アフリカ……南アフリカ、ウガンダ、ジンバブエ等

(1株当たり情報)

1株当たり当期純利益および算定上の基礎ならびに潜在株式調整後1株当たり当期純利益および算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	1,045.99円	1,115.87円
1株当たり当期純利益	71.87円	77.91円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	65.71円	72.47円

- (注) 1. 1株当たり純資産額の算定上、株主資本において自己株式として計上されている役員報酬BIP信託が保有する当社株式(前連結会計年度112千株、当連結会計年度102千株)を期末株式数の計算において控除する自己株式に含めております。
2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上、株主資本において自己株式として計上されている役員報酬BIP信託が保有する当社株式(前連結会計年度91千株、当連結会計年度106千株)を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	18,477	20,027
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	18,477	20,027
普通株式の期中平均株式数(千株)	257,104	257,051
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	△122	△34
(うち受取利息(税額相当額控除後)(百万円))	(△122)	(△34)
普通株式増加数(千株)	22,228	18,817
(うち転換社債(千株))	(22,228)	(18,817)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	-	-

(重要な後発事象)

該当事項はありません。